

Disaster Prevention Handbook for Dormitory student

学生宿舎 防災ハンドブック



Osaka Kyoiku University
Dormitory
Kashiwara Campus

osaka-kyoiku.ac.jp/campus/dormitory

CONTENTS

1	地震	1
2	火災	2
3	台風	3
4	避難場所	3
5	安否確認	4
6	非常時持ち出し品リスト（参考）	4
7	宿舎内の消防設備配置図	
	（1）男子学生宿舎	5
	（2）女子学生宿舎	6
	（3）留学生宿舎	7
8	消防設備などの使い方	8
9	学生宿舎自衛消防組織	
	（1）男子学生宿舎	11
	（2）女子学生宿舎	12



1 地震

(1) 地震が発生したとき

- ・まず、机の下などへもぐり、安全を確保する。

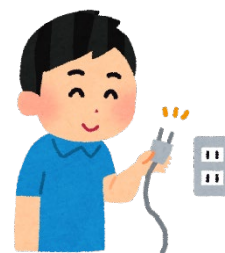
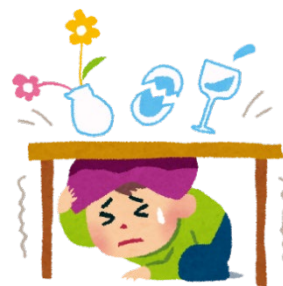
【揺れがおさまったら】

- ・ドアを開け、非常脱出口を確保する。
- ・火元を確認する。火が出たら、落ち着いて初期消火をする。
- ・フロアの安否確認をする。
- ・コンセントからコードを抜く。倒れた家具が延長コードを踏んでいないか、電気製品の破損の有無を確認する。
- ・危険だと判断したときは、スリッパや靴をはき、避難を開始する
- ・余震に注意する。
- ・被害があったときは、学生支援係／国際室へ連絡する

連絡先 学生支援係 072-978-3312

国際室 072-978-3300

警備員室 072-978-3261（夜間 17：15～8：30、土日祝）



(2) 普段から気を付けておくこと

- ・避難場所や避難ルートを確認しておく。
- ・非常時の持ち出し品を準備しておく。
- ・部屋の扉付近は整理整頓しておく。
- ・部屋の上部の棚（日本人学生宿舎のみ）に重い物を置かない。

(3) 学生宿舎のガス・水道について

【ガス】

- ・震度5強以上の地震が発生すると、地震感知器が発報し、柏原キャンパス全体のガスが遮断される。
- ・ガス復旧時に火災の恐れがあるため、ガスの元栓を閉める。

【水道】

- ・震度5強以上の地震が発生すると、緊急遮断弁が動作し、中水（トイレ用の水）・上水（飲料水）ともに供給が停止する。
- ・飲料水は、みんなの広場の貯水槽（貯水機能つき給水管）が利用できる。飲用可だが、地震の際は排水管内の錆が混入して水が濁る場合がある。上水道が復旧するまでは、水槽の残留水のみ使用できる。
- ・みんなの広場の防災用簡易トイレが利用できる。洗浄水がないため、バケツ等であらかじめ水を用意する必要がある。
- ・水道の復旧は、設備に異常がないことの確認と、電力復旧後になる。復旧直後は水が濁ることがあるため、炊事等に使用するとき、水に濁りがないか確認する。

2 火災

(1) 火災が発生したとき

通報

- ・「火事だ！」と大声で周囲に知らせ、協力を求める。
- ・非常ベルを押す。
- ・消防署 119 番に通報する。

あわせて、学生支援係・国際室・警備員室へも連絡する。

連絡先	学生支援係	072-978-3312
	国際室	072-978-3300
	警備員室	072-978-3261



消火

- ・消火器、屋内消火栓を使って初期消火を行う。
- ・火元に向けて消火する。(煙に向けると燃え広がるため)
- ・天井まで燃え移ったときは、消火を中止し、避難する。

避難

- ・ぬれたタオルやマスク等で顔（特に口）を覆う。
- ・煙の中を逃げるときは、できるだけ姿勢を低くする。
- ・避難後、学生支援係に連絡する。

ベルが鳴ると、警備員室と事務局棟 1 階（火災受信所）へ届く。

警備員は受信機で場所を確認し、現場へ駆けつける。

火災報知器受信機で、ベルの鳴動場所が確認できる。

火災が発生した場合は、他の学生宿舎へも知らせる。

(2) 普段から気をつけておくこと

- ・消火器、消火栓の場所・避難経路を確認しておく。(P5、6)
- ・避難はしごの場所・使用方法を確認しておく。(P9)
- ・共用部分・廊下・階段に物を置かない。
- ・防災訓練には必ず参加する。

(3) 火災を防止するために

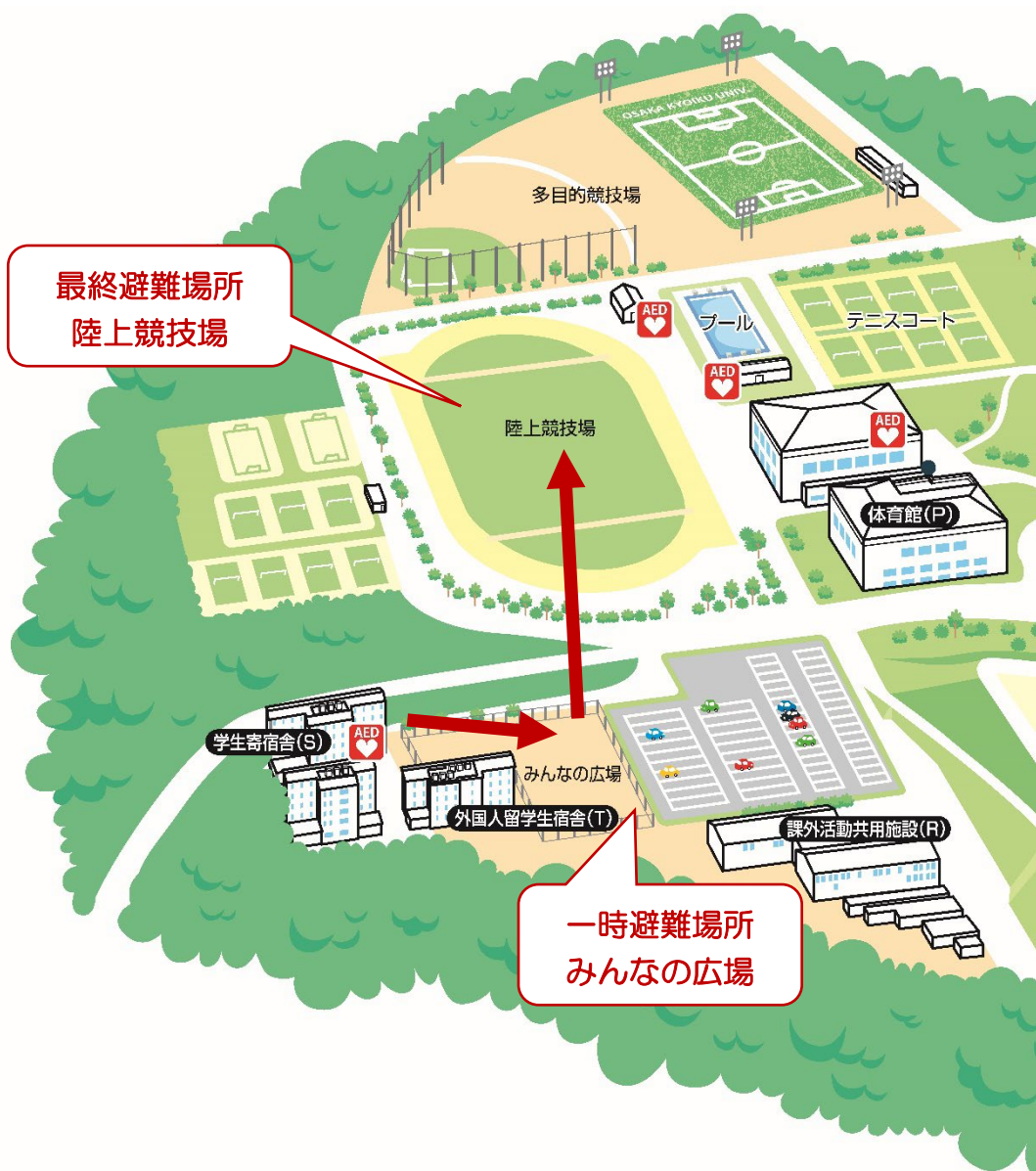
- ・ガスコンロを使うときは、その場から離れない。使用後は元栓を閉める。
- ・使用しない電気製品のコンセントを抜いておく。
- ・電気製品は正しく使い、たこ足配線をしない。
- ・コンセントや配線に積もったほこりは火災の原因となるため、日頃から清掃する。

3 台風

【台風が接近するおそれがあるとき】

- 窓とカーテンを必ず閉める。
- 段ボールと養生テープを使い、窓ガラスを補強する。
- ベランダを片付ける。
- バイクを固定しておく。自転車をあらかじめ倒しておく。

4 避難場所



5 安否確認

地震や火事などの災害が起きたときに、ご自身の安否情報を以下の通り共有してください。

1 自身の安全を確保する

- ・自身の安全を確保することを最優先する。

2 家族に連絡する

3 本学安否確認システム ANPIC に返答する

地震や自然災害などの大規模災害が発生したとき、自動的にメールが届くので、必ず返答すること。

4 フロアごとのLINE グループに伝える

- ・寮生は、フロアグループ LINE に、自分の安否を伝える。
- ・班長はフロア入居者の安否確認を行い、情報があり次第、学生支援係へメールや電話で伝える。
- ・グループ LINE 上で班長の応答がないときは、他の寮生から係へ報告。

【学生支援係から連絡をする場合】

- ・緊急時は、大学の電話番号ではない番号から、連絡が入る場合がある。
- ・寮生に連絡が付かない場合、ご家族に連絡する場合がある。
- ・安否不明の学生の居室を開錠する場合がある。
- ・係が独自に得た安否情報は、フロア班長に共有する。

6 非常時の持ち出し品リスト（参考）

避難するときに持ち出すものです。持ち出しやすい場所に置いておきましょう。

また、自分の環境に合わせて必要なものを準備しましょう。

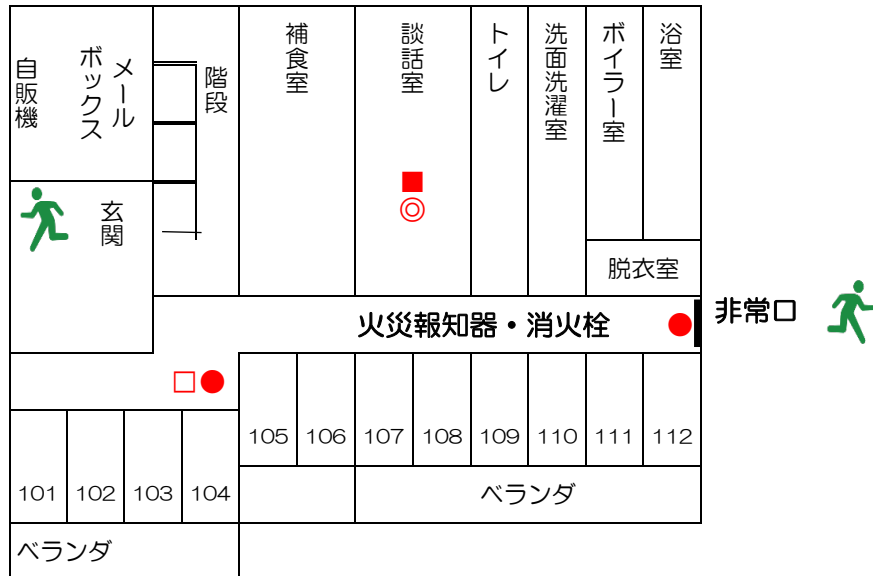
貴重品類	現金 10 円玉、100 円玉（公衆電話用※） ※公衆電話は、エスカレーターを上がった所の近くにあります。 預金通帳、印鑑、保険証、免許証
避難用具	懐中電灯、携帯ラジオ、予備の乾電池 ヘルメット、防災ずきん
生活用品	厚手の手袋、毛布、缶切、マスク、手指消毒ができるもの、スリッパ ライター・マッチ、ナイフ、携帯用トイレ、スマートフォン充電器
救急用具	救急セット、常備薬・持病薬、生理用品
非常食品	非常食、飲料水
衣料品	下着・靴下、長袖・長ズボン、 防寒用ジャケット、雨具
その他	携帯用カイロなど その他自分の生活に欠かせないもの

7 宿舎の消防設備配置図

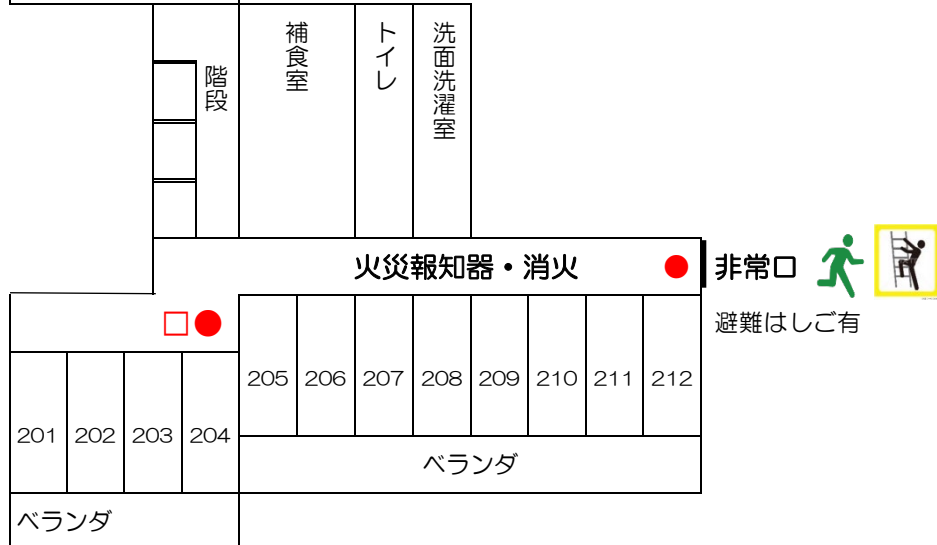
●：消火器 ◎：火災受信機 ■：館内放送設備 □：防災グッズ保管庫

(1) 男子学生宿舎の消火設備配置図 談話室に内線専用の電話（3891 番）があります。

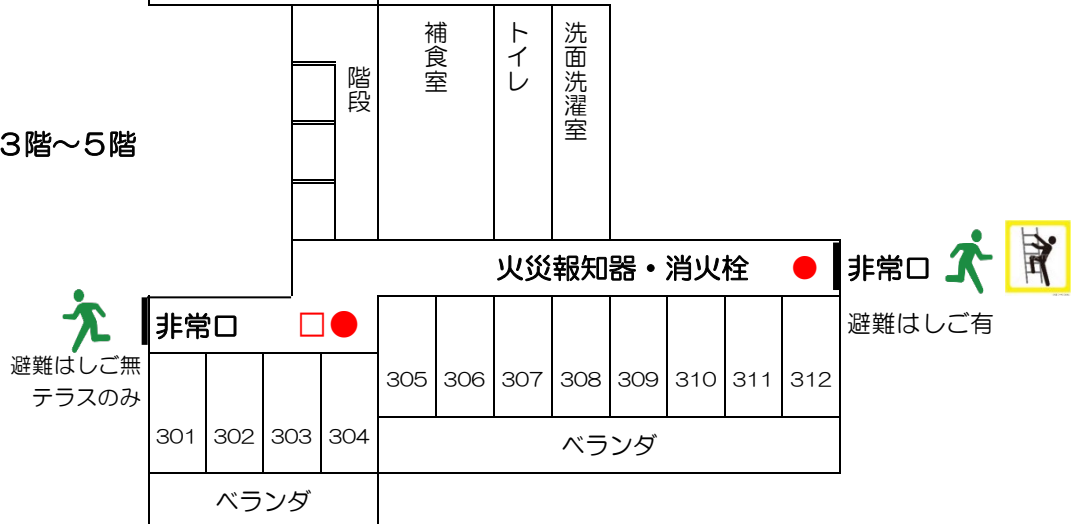
1 階



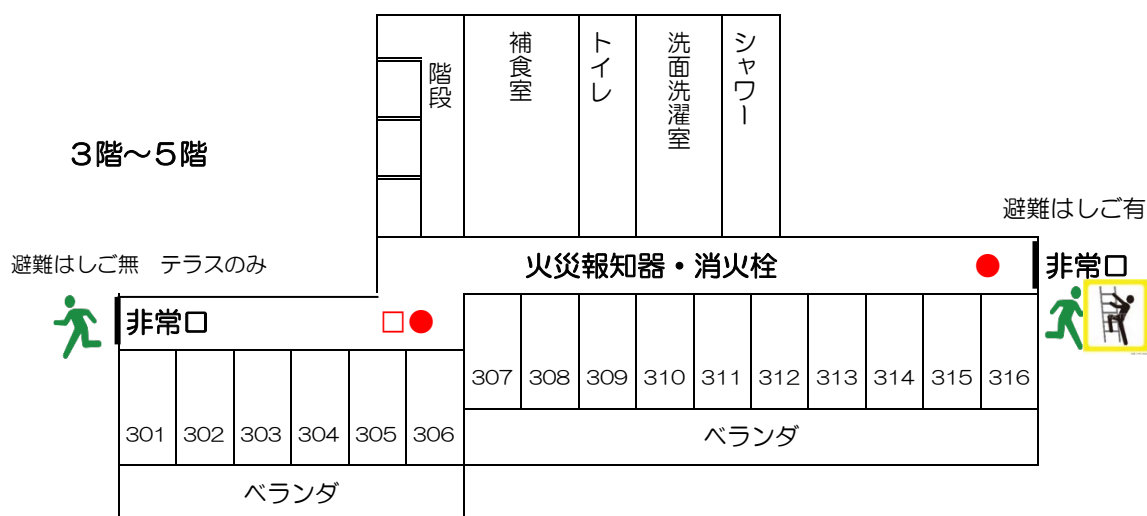
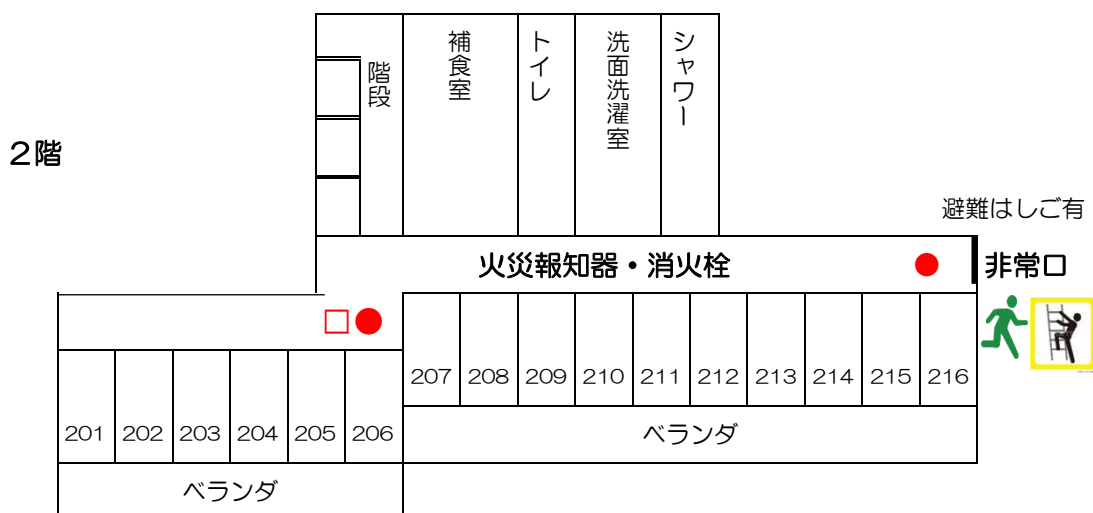
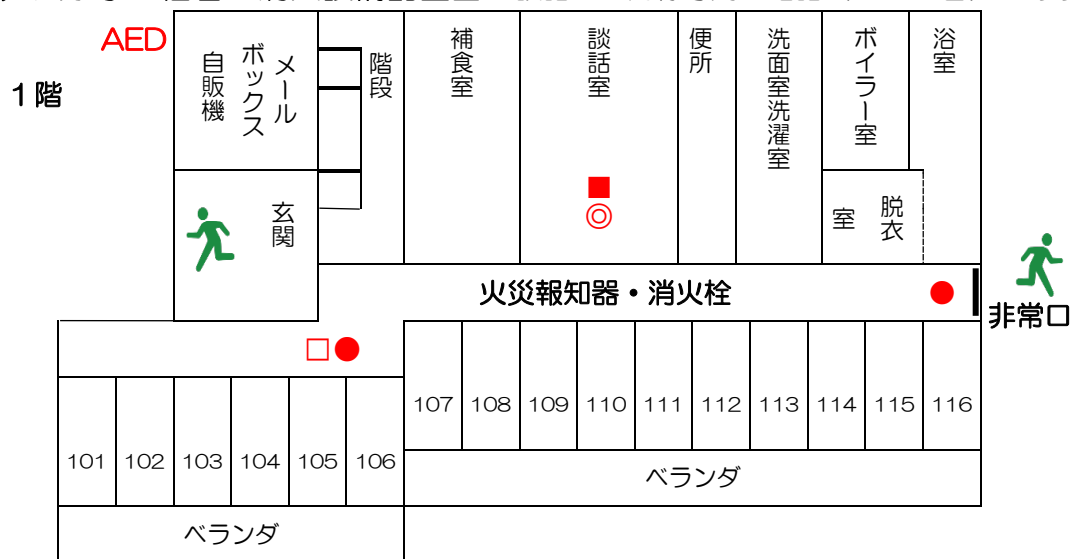
2 階



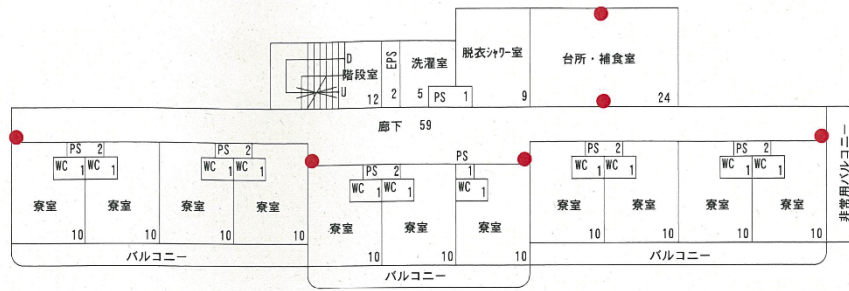
3 階～5 階



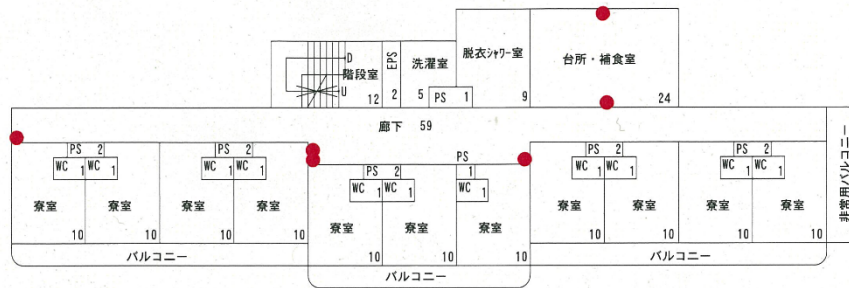
(2) 女子学生宿舎の消火設備配置図 談話室に内線専用の電話（3890 番）があります。



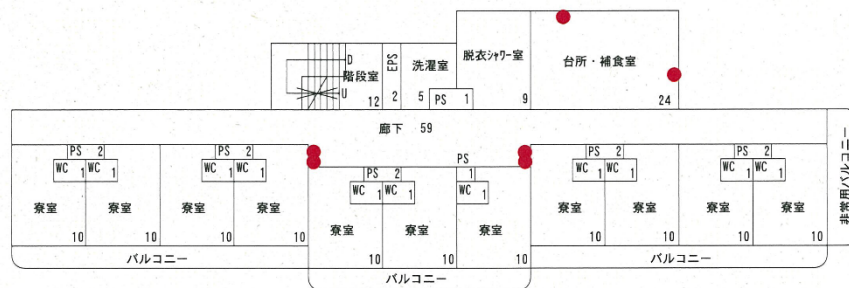
(3) 留学生宿舎の消火設備配置図



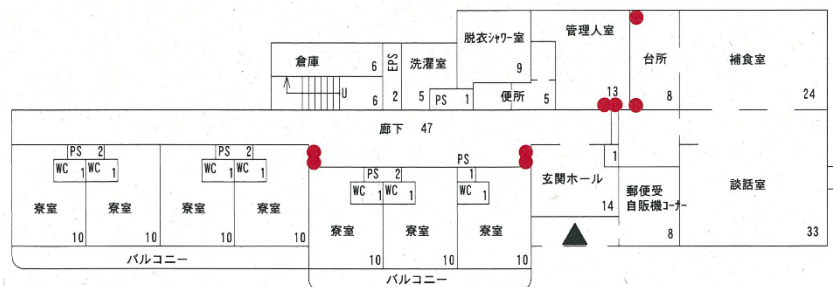
4 階



3 階



2 階



1 階

8 消防設備などの使い方

(1) 自動火災報知設備の使い方



※火災を発見した場合、火災報知機のボタンを押すことにより、ベルが鳴動し火災を知らせます。
(※事務局棟(火災受信所)や警備員室にも通報されます)

(2) 消火器の使い方



取扱説明
ピン



①
ピンを抜く



②
ホースを持ちレバーを握る

(3) 屋内消火栓の使い方

必ず2名以上で操作する



①
消火栓の扉を開ける



②
ホースを引出す



③
消火栓始動ボタンを押す



④
バルブを緩めると水が出る



⑤
開始に向け消火する

(4) 避難はしごの使い方



避難扉の外部に設置



ハッチを持ち上げる



フックを外しハッチを開く



ハッチが開く



レバーを押すと梯子が下がる

(5) 火災受信機・放送設備 (放送設備は男子・女子学生宿舎のみ設置)



右: 火災受信器
左: 放送設備

日本人学生宿舎は談話室内、
留学生宿舎は管理人室内に
設置。(放送設備は日本人のみ)



放送設備 (宿舎全体に放送できます)

1. 「電源」を押す
2. 「マイク放送」を押す
3. 放送する箇所のボタンが光っていることを確認する
4. マイクを外し、マイクにあるボタンを押しながら話す

(6) 防犯ブザー（女子のみ）

●防犯ブザー

設置場所

・1階部分（22ヶ所）

廊下（5ヶ所）・トイレ（4ヶ所）・脱衣室（3ヶ所）・洗面所（2ヶ所）・玄関
談話室（2ヶ所）・補食室（2ヶ所）・洗濯室・階段踊場・メールボックス付近

・2階～5階部分（各階17ヶ所）

廊下（5ヶ所）トイレ（4ヶ所）・脱衣室（2ヶ所）・洗面所（2ヶ所）・
補食室（2ヶ所）・洗濯室・階段踊場



（脱衣所）



（廊下）

- 警報表示ランプ盤：階段付近に設置
サイレンが何階で鳴っているかを表示する。



（階段付近、上方）

サイレンの音が聞こえたら

警備員室（072-978-3261）と学生支援係（072-978-3312）に連絡してください。

状況によっては、警察（110）に通報してください。

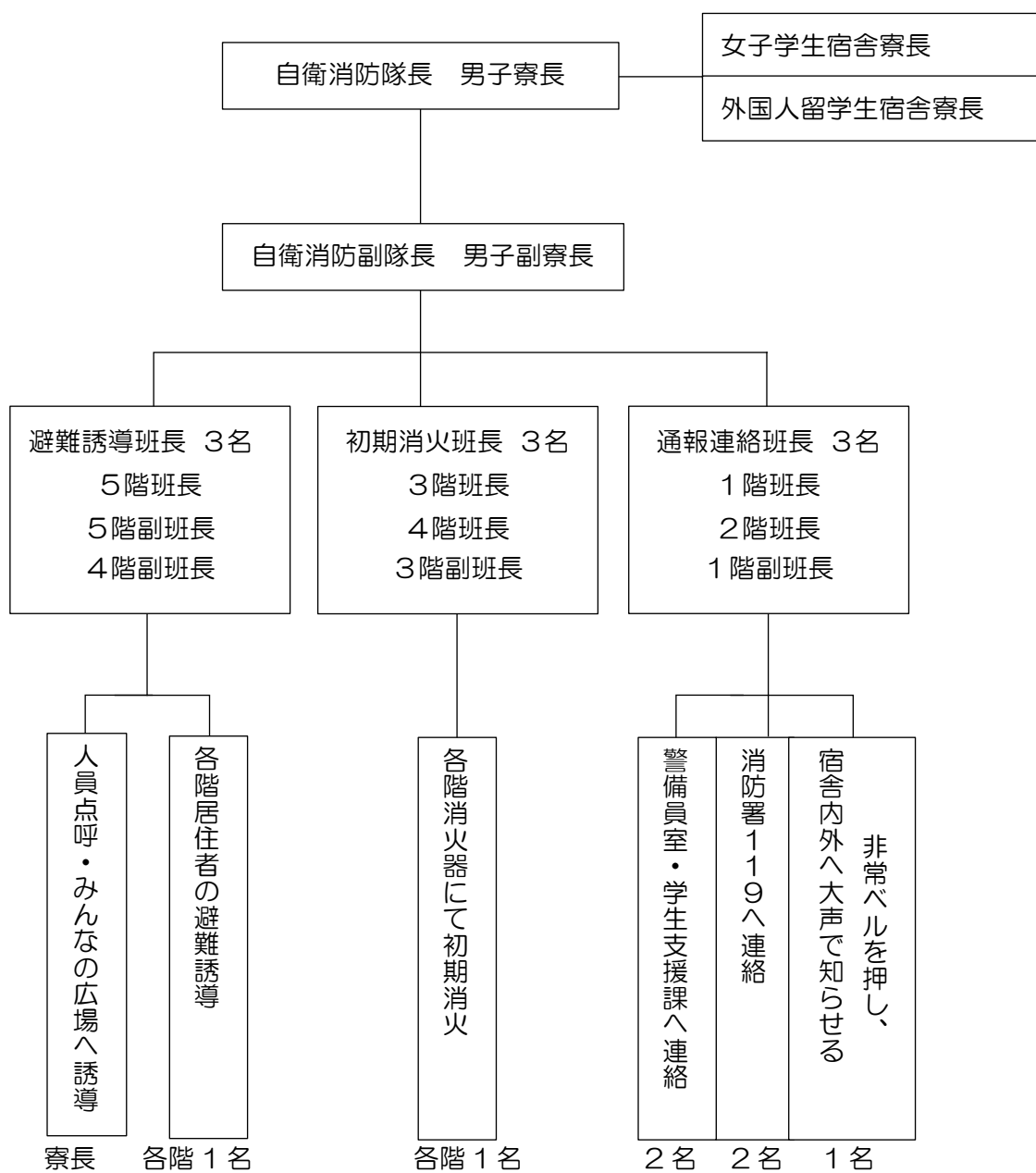
※サイレンは、警備員室、学生支援課、警察へは直結していません。

誤って防犯ブザーを押してしまったら

押したボタンを引き戻すと、数分以内に鳴動停止します。誤報である旨を、警備員室と学生支援係に連絡してください。

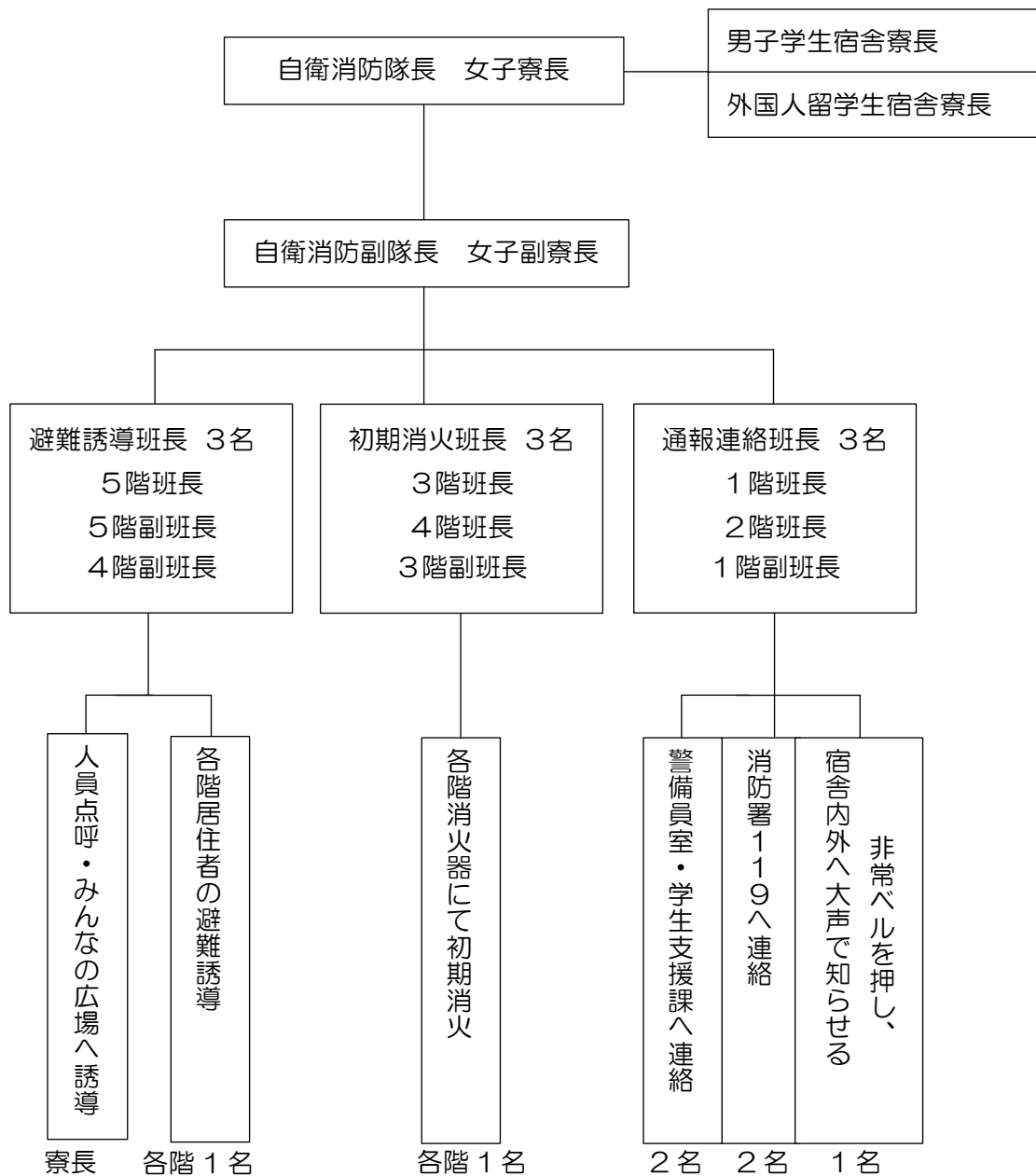
(1) 男子学生宿舎自衛消防組織

(各階の火元責任者：各階班長・副班長)



(2) 女子学生宿舎自衛消防組織

(各階の火元責任者：各階班長・副班長)



主な連絡先

学生支援課学生支援係(男子・女子学生宿舎担当)

Tel 072-978-3312 Email hokenryo@bur.osaka-kyoiku.ac.jp

学術連携課国際室(留学生宿舎担当)

Tel 072-978-3300 Email ryugaku@bur.osaka-kyoiku.ac.jp

警備員室 Tel 072-978-3261

保健センター Tel 072-978-3811